



ちゅうりっぷ組だより



令和6年2月20日 ときわ保育園 担当 岡田 <2月号>

少しずつ窓から暖かい日差しが差し込むようになり、子ども達も窓越しに日光浴を楽しんでいます。

先日は、保育参観にご出席いただきありがとうございました。

保護者の方と一緒に安心する中で、自分らしさを出しながらのびのびと遊ぶ姿は微笑ましく、とても楽しいひと時を過ごすことが出来ました。最近では、友だちへの“大好き！”の表現も上手になり、登園した子が同じクラスの子を見つけると、順番に“おはよう！”と頭をなでている様子に心が温まります。これからも、子ども達の成長と一緒に喜びあっていけたらと思っています。



さて、先月に引き続き絵本を楽しんでいるちゅうりっぷ組さん。

段々と生活の流れ・リズムの習慣がついてきて、午睡前にお昼寝の本を読んでいるのですが、声を掛けるといつもの場所に集まって座り、保育者の“ねんね”の手を真似しています。たくさん遊び、いっぱい給食を食べた後なので満足した様子でお布団に入っていく子ども達。ですが、時々一人の子が“まだ遊びたい！”とそっと抜け出すと、隣の子もまた一緒に遊び始めたりする姿も... 最後は、保育者に抱っこをされて戻ることにもまた楽しいようで、“キャッキヤ”と笑っていたかと思えば、トントンをするとすぐに眠っていたりと一つひとつの反応がなんとも可愛らしい姿です。



< 雪遊びを楽しみました♪ >

(雪ふり初日)



なんだ
あれは!?

降ってくる様子
にくぎづけで覗きこみ...



白くてふわ
ふわだ〜♪

みんな“触りた〜い!”
と連れて行ってアピール
をしていました。

(次の日...)



雪のふわふわとした不思議な感触と、冷たさに喜び、保育者の言葉を真似て一緒に「つった〜い!」(冷たい)と言いながら夢中になって触っていました♪

